

沼隈町 平家ゆかりの名所・史跡



★パワー★
スポット
赤幡神社の大杉を
さわりながら
願い事を言うと
叶うかも



平家の赤幡が祀ってある神社。横倉谷にある平家ゆかりの神社では、紙垂(しで)に赤い紙を使ってあり、人々は昔から源氏の白幡と同じ白を避ける風習があります。

- MAP 2 的場** 平家一門が合戦に備え、武術の鍛錬をした場所。弓の練習をした際に、的を置いたと言われる地。
- MAP 3 鐘の峠** 平家の武将が馬に乗り険しい坂道を登るとき、片鐘を落としたことから、「鐘の峠」と呼ばれています。
- MAP 5 乗越え** 鐘の峠へ登れず引き返し、小高い峠を乗り越えたことに由来します。
- MAP 6 見張所跡** 通盛が追手の侵入を警戒して、谷に通じる峠道や要所に「見張り所」をおいたと言われています。
- MAP 8 弓場** 平家一門が合戦に備え、武術の鍛錬をした場所。ここから西方の「的場」をめがけて射ったと言われています。
- MAP 9 殿方(館)の前** 平氏にまつわる住人の館があったと言われ、その館を中心に「殿方の前」と呼ばれています。
- MAP 10 広場** 平家の武将たちが馬術などの武術鍛錬をした場所とされています。
- MAP 11 石亀神社** 通盛神社の例祭において、渡御・祭典が行われる場所。付近からは平家ゆかりの遺品も出土されました。

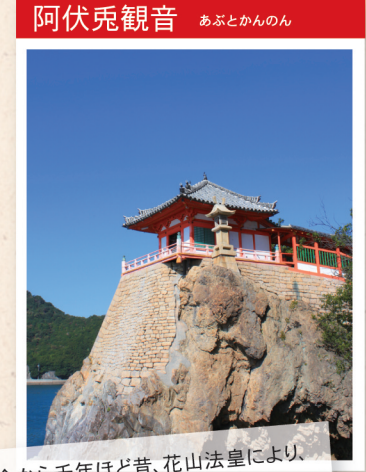


高さ約2.7m、幅1.8mぐらいの切り立った岩で、この谷の奥へ逃れて行く平通盛が武運を試そうとこの岩をめがけ刀で切りつけたと言われています。ダム建設により、今は堤防の底となりました。

Baby ★パワー★
スポット
航海安全だけでなく、
子宝・安産・子育ての
ご利益も!

能登原

地名の由来 源平合戦のとき、屋島を追われた平家の一団がこの地に逃れてきました。この一団の大将であった能登守教経が「この地はなんというか」と尋ね、村人は「名はありません」と答えたそうです。すると教経は「それでは余の名を与えよう」と言い、それからこの周辺を「能登原」と呼ぶようになったと言われています。



今から千年ほど昔、花山法皇により、付近の航海の安全を祈願するために創建されましたが、源平合戦のおり海中に沈みました。その後、毛利輝元が堂を再建し、1956年には国の重要文化財に指定されました。子授け・安産で有名なお寺です。



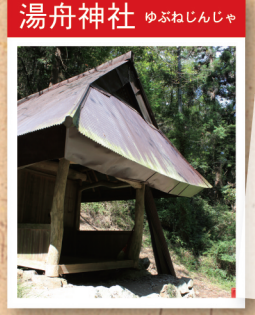
1583年天正10年、通盛の遺子秀盛から15代目にあたる秀円が一族の供養のために寺を建立しました。平通盛の菩提寺として伝えられ、境内には通盛の妻・小宰相局の墓があります。春には高さ12m、横幅17mの樹齢約250年といわれる巨大なエドヒガンザクラが咲き誇り、ライトアップもされています。



通盛がしょうぶ湯につかり戦いの疲れを癒したという伝えにちなんで作られました。広大な敷地に約500種の花しょうぶが咲き誇ります。



山道を歩いて進んだ山の中にあり、集落への出入りを見守る役目があったといえます。京都の貴船神社の分霊を祀っており、兵船の模型が奉納されています。



貴船神社と同じように平家谷の出入りを守る神社と言われています。ここにも兵船の模型が奉納されています。



1192年創建され、御神体には通盛の自彫りと伝えられる通盛と妻小宰相局の木像が祀られています。旧暦の8月の祭礼には、海戦で命を落とした平氏の魂が宿る「平家蟹」が、能登原の海岸から参拝に来たと語り継がれています。現在の御殿は1900年に建て替えられたものになります。通称「平家さん」と呼ばれ、夫婦円満の神社としても親しまれています。

Love ★パワー★
スポット
カップル・夫婦で
お参りすると
家族運がUP!!